

こまえ

平成23年(2011年)9月
通巻第53号

図書館だより

ホームページアドレス <http://www.library.komae.tokyo.jp>
モバイル版アドレス <http://mb.library.komae.tokyo.jp>



-今号のトピックス-

1. 館長あいさつ
2. 事業概要
3. 障がい者サービス
4. こども行事報告
5. 図書館こんな時は…
6. 聞かせて狛江の昔むかし
7. 今後の行事予定

sm mb



[科学遊び・空気砲の実験]

利用者みなさまへ

館長 小川 守清

今年は、東日本大震災に始まり、新潟県豪雨災害、台風12号の大雨などによる被害が、日本各地で相次いでいます。被災地の一日も早い復旧復興を図書館職員一同、心より願っています。

東日本大震災の際、狛江市立図書館においては、別棟の書庫の棚が一部損壊し、本が落下しましたが、幸いにして大きな被害ではありませんでした。しかし、地震後の約1カ月間(4月15日まで)、閉館時間を通常の午後7時から5時に短縮し、おはなし会なども事業については開催を一時見合わせるなど、利用者みなさまにはご不自由やご不便をおかけしました。さらに、この夏は、電力危機に対する節電(館内一部消灯、冷房の設定温度変更)にもご協力いただきありがとうございました。

この最中、4月に館長に就任した私ですが、市役所に入り、最初に配属された職場が図書館でした。このたび20数年ぶりに戻ってきました。時が流れ、図書館を取り巻く状況は変わっていますが、図書館がどなたでも利用できる施設であることは変わりません。立派な施設ではありませんが、誰でも気軽に利用できて、愛される図書館づくりを目指していきたいと考えています。

※音訳版(カセットテープ・デージー)もあります。ご希望の方は中央図書館にお問い合わせください。

平成 23 年度の主な取り組み

「住民生活に光を注ぐ交付金」の活用

総務省からの交付金 420 万円を活用し、障がい者用のデージー音訳機器の購入や児童図書の充実を図ります。

ブックスタート事業の充実

3・4 ヶ月児健診を受けられなかった方にブックスタートのご案内を再通知し、引換券をお送りします。また、健診会場内で希望する方には、赤ちゃんの名前で図書貸出券を発行します。

『写真で見る昭和の狛江』のデジタル化

「緊急雇用創出事業」の一環として、市制施行 40 周年記念誌『写真で見る昭和の狛江』に寄せられた写真（一部未掲載を含む）をデジタル化し、データベースの作成を行います。

図書館ボランティアの育成

昨年から活動を開始した図書の修理を行う図書館ボランティアや音訳者のスキルアップ講習を実施します。

このほか、前年度に引き続き、さまざまな図書館サービスに取り組んでいきます。

平成 22 年度を振り返って

平成 22 年は「国民読書年」でした。中央図書館では、読書推進事業の一環として、文学講演会と文学散歩をそれぞれ 2 回ずつ実施しました。また、市制施行 40 周年にあたり、市では様々な記念事業を行いましたが、図書館としても周年記念誌として、写真集『写真で見る昭和の狛江』を 10 月 1 日に刊行しました。同日、狛江ゆかりの作家である宮尾登美子さんをお迎えして、一日図書館長のイベントや「宮尾登美子文庫」として寄贈いただいた図書の展示も行いました。

事業概要

中央図書館及び地域センター図書室の図書購入予算は、2,000 万円で、前の年と同額でした。市民一人当たりの購入費は、他市と比較して高い額とはいえませんが、図書購入時の選書、都立図書館や他市の図書館との相互協力による貸借等により、市民の要望に応えられるよう努力しています。

リクエスト・予約件数は、21 年度から返却待ちの予約だけでなく、在架取り置きの予約サービスを開始したことで、インターネッ

トや携帯電話、利用者端末からの利用が年々伸びてきています。

図書館を利用するのに障害のある方に対しては、点字図書・録音図書（カセットテープ・CD）・大型活字本などを貸し出しています。また、来館が困難な方には、自宅まで図書資料を届ける宅配サービスや対面朗読サービスも行っています。22 年度実績は、宅配 63 回、対面朗読 55 回 110 時間でした。また、専門的な技術を要する音訳者の養成に力を入れ、継続した講習会を行ってスキルアップに努めます。

新たな試みとして図書館ボランティアを募り、破損した絵本や図書の補修作業をお手伝いいただいています。そのための実技講座を行い、活動開始後の半年間で 680 冊以上もの本が修理され、また利用されるようになりました。この他、親子読書推進事業「おはなし会」「科学あそび」「工作教室」「子ども図書館員」やブックスタート事業など、子どもの読書推進を図る内容の行事や学校図書館に対する協力貸出、職場体験生の受け入れなど市内の小・中学校との連携にも取り組んでいます。

数字で見る狛江市立図書館 2010

平成 22 年度（平成 23 年 3 月 31 日現在）の数字から利用状況をご紹介します。

◆蔵書冊数（冊）：市内全体で 293,891 冊です。

	中央館	野川	上和泉	岩戸	南部	西河原
一般書	130,269	11,989	15,113	11,433	10,119	22,038
児童書	41,970	9,583	8,811	8,624	9,985	13,957
合計	172,239	21,572	23,924	20,057	20,104	35,995

◆登録者数（人）：狛江市民の約 41%の人が図書貸出券を持っています。

	中央館	野川	上和泉	岩戸	南部	西河原
一般	19,937	1,392	1,074	1,325	1,456	1,954
児童	2,370	401	327	244	303	637
合計	22,307	1,793	1,401	1,569	1,759	2,591

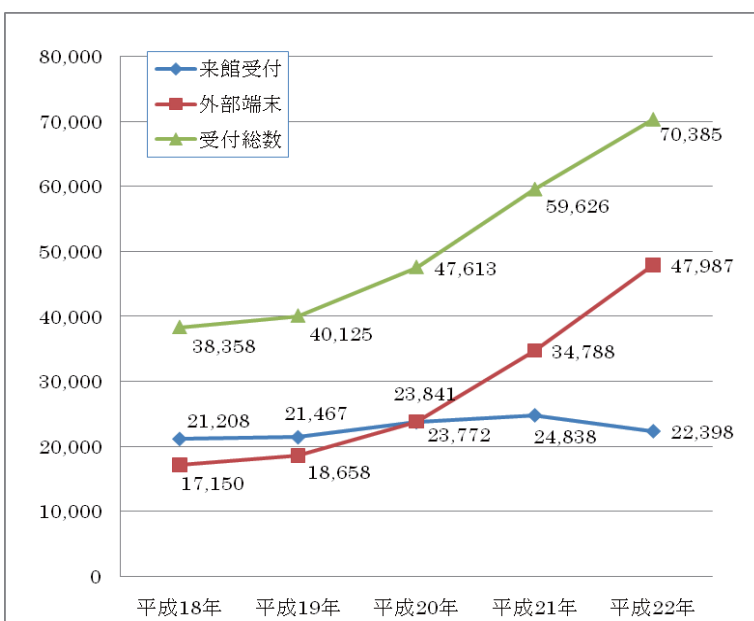
◆個人貸出（冊）：貸出数は 1 日平均約 1,653 冊！

一般書	児童書	雑誌	合計	1日平均
318,713	171,990	30,483	521,186	1,653

◆予約受付数の推移（件）

	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
来館・電話	21,208	21,467	23,772	24,838	22,398
外部端末	17,150	18,658	23,841	34,788	47,987
受付総数	38,358	40,125	47,613	59,626	70,385

※外部端末…インターネットや携帯電話を利用した図書館ホームページからの予約受付



近年、図書館ホームページからの予約受付件数が飛躍的に伸びています。また、外部端末から利用者自身が予約入力できることで、来館や電話での受付件数は減少しています。

【お願い】

予約資料が用意できた際に、すでにお手元で利用中の資料と合わせて上限冊数を超える場合には、追加貸出しはできませんのでご注意ください。2週間8冊以内での利用をお願いします。

「24時間テレビ」から寄贈を受けました

日本テレビ「24時間テレビ」チャリティー委員会から、障がい者情報保障支援の一環として障がい者サービス用機器等の贈呈を受けました。今後は、録音図書の作成・貸出に力を入れると同時に一部の機器については短期間の貸出も行う予定です。



音声パソコン・点字ラベラー・デジタル録音機



音声読書機・携帯型マルチメディアプレイヤー
DAISY専用機・携帯型DAISY再生録音機 等



DAISY 図書セット

寄贈を受けた機器

1、拡大読書器（携帯型）

活字を利用者に適した倍率で拡大し、見やすい色調で画面上に表示することのできる装置です。

2、DAISY 再生専用機&携帯型 DAISY 再生録音機

CDやSDに保存されているDAISY図書の再生ができます。

3、DAISY 図書セット

マルチメディア DAISY【音声とそのテキスト・画像などをシンクロ（同期）させて再生できるもの】と音声 DAISY のセット（全26タイトル）

4、音声パソコン

DAISY 図書の製作（編集・校正）をします。

5、デジタル録音機

DAISY 図書を制作する際のデジタル録音機。

6、CD コピー機

CD や DVD を短時間にコピーできます。

7、音声読書機（音声スキャナー）

活字の印刷されている面を所定の場所に置くだけで自動音声で読み上げる装置です。

8、点字ラベラー

録音資料のケース・宛名カードなどに貼る点字シールを作成します。

9、携帯型マルチメディアプレイヤー

パソコンを使用しないでマルチメディア DAISY を利用するためのものです。

10、大活字本（子どもの本セット）

通常の小さな活字では本が読みにくい方のために、22ポイントの大きな活字になっている本です。

なっやすみ! こども行事報告

夏休みの図書館は、毎日たくさんの子
どもたちでにぎわいました。

子ども向けの体験行事にも元気に参加
してくれてありがとうございました。

一日図書館員として、緊張しながらカ
ウンターで本の貸し出しをしている子
に、利用者のみなさんから温かい励まし
の聲がかかると、少しずつ硬かった表情
も和らいで、笑顔で挨拶ができるよう
になりました。



子ども一日図書館員

8月4日(木)・5日(金)

特別おはなし会

7月27日(水)

いつもの「おはなしのへや」
とは場所をうつして、大型絵本
『せんたくかあちゃん』やパネ
ルシアター『うしろにいるのは
だあれ』などを楽しみました。

最後にみんなで輪唱した「カ
エルのうた」は、きれいなハー
モニーでした。



かやぶくあそび教室

7月29日(金)



空気の実験「とびだせ! くうきの
わ」では、段ボール箱で空気砲をつ
くりました。線香の煙を箱の中にた
めて、側面をたたくと、白い空気の
輪っかを見ることができました。

ねらいをさだめて、ろうそくの火
を吹き消すのは、難しかったかな?

本の寄贈とは？



図書館にはたくさんの本が寄贈されます。寄せられる本は実にさまざまで、自治体や企業、各種団体が発行するものの他、個人的に読み終えた本を持ちこまれることもあります。その中から図書館資料として受け入れるものを選定していますが、昨年度は707冊を蔵書としました。

寄贈図書を玄関脇の返却ポストに投入して下さる方もいらっしゃいますが、これは自分の本を間違えて入れたのか、寄贈の申し出なのか判断ができずに落し物扱いとなります。寄贈の際には、できるだけ図書館職員にお問い合わせの上、直接カウンターにご持参くださいますようお願いいたします。

なお、せっかくお申し出いただいても受け入れできない資料もあります。貸出室の棚も書庫も満杯で、必要とするものはすでに購入済みなことが多く、実際に受け入れできる資料はほんの一部です。受け入れできなかった分は、リサイクル市で市民のみなさまに配布し、活用される機会を提供していますので、どうぞご了承ください。

図書館こんな時は…

受け入れできる資料

- ① 市内在住の方が書いた本や市内団体が発行した狛江市に関連する本。
- ② 刊行から比較的新しく、状態の良い本。(特にベストセラーや予約が多いもの)

※すでに蔵書として重複するものでも、場合によっては差し替えて利用します。
また、予約人数の多い本は、待ち時間短縮のため受け入れることがあります。

※一部資料によって、データ入力の関係で受け入れに時間を要する場合があります。

※受け入れた資料もその後の利用に応じて、除籍となる可能性があります。

寄贈をご遠慮いただきたい資料

- ① 汚れたり、書き込みのある本。古くて傷みのひどい本。
- ② 問題集、学習参考書、古い百科事典など
- ③ 刊行から概ね1年以上経過した実用書



リサイクル図書の無料配布を今年も行います

図書館で不用になった図書資料や保存年限を終了した雑誌などを払い出し、リサイクル図書として、市民の皆さんに配布する機会です。昨年は延べ1200人を超える来場があり、一時入場制限を行うほどの賑わいぶりでした。

11月19日(土)・20日(日)
午前10時～午後4時
中央公民館・地下ホールにて

聞かせて

狛江の昔むかし

こふんじだい
古墳時代・I

井上 孝／著（狛江市文化財専門委員）

やまとちほうとういつせいき
大和地方の統一が進められ、3世紀の
すえせいききんきちほう
末から6世紀にかけて近畿地方を中心
にたくさんのこふんきず
古墳が築られました。その
じだいこふんじだい
時代を古墳時代といいます。狛江でも
せいきなかせいきこうはん
5世紀半ばから6世紀後半にかけてた
くさんのこふんつく
古墳が造られています。

それらのこふんたまがわしみずかわ
古墳は、多摩川や清水川、
のがわだんきゆう
野川に近い段丘の上であって、今も丸
い盛り土の上にこんもりと木がしげ
茂っています。

こふんえど
狛江に古墳が多かったことは、江戸
じだいぶんせい
時代から知られていて、文政3年(1820)
うえだもうしんむさしめいしやうずえ
に植田孟縉が書いた『武蔵名勝図会』
いずみむらかしよいのがたむらかしよ
にも、和泉村に9箇所、猪方村に9箇所、
いわどむらかしよこふん
岩戸村に11箇所の古墳があったと書か
れています。

なかでも、しょうわはくつちやうさ
昭和26年(1951)に発掘調査
が行われたあと取り崩されたかめづかこふん
亀塚古墳
ほたてがいしきぜんぼうこうえんぶんこう
は、帆立貝式前方後円墳といって丸い後
えんぶ
円部の前に小さな四角い張り出し部分
がついたもので、めんせきやく
面積約1,000 m²、全長
40m、こうえんぶちよつけい
後円部の直径31m、高さ6m余、
ぜんぼうぶはば
前方部の幅14m、長さ9m、それに幅9
m、深さ2mのしゆうこうこふんとかこ
周溝（古墳を取り囲む
ほり
堀）がありました。この古墳については、
ぶんせいじだいしんべんむさし
やはり文政時代に書かれた『新編武蔵
ふどきこうかめづか
風土記稿』にも「亀塚」という名前で書
かれています。

ちやうさけつかこうえんぶひつぎ
調査の結果、後円部には2つの棺を
入れる箱が見つかり、その中からは
ふくそうひんかがみしんじんかぶがぞうきやう
副葬品として、鏡（神人歌舞画像鏡、
ちよつけいせいきちゆうごく
直径20.8cm、1～2世紀ごろ中国で
つくられたもの）、けんこんどうかざりいた
剣、金銅飾板、
ぎよくるいぼぐかたなてつやぎんかん
玉類、馬具、刀、鉄の矢じり、銀環な
どが出てきました。

そしてしゆうこうえんとうはにわはにわ
周溝からは、円筒埴輪、埴輪
だんしぞうとうぶうまがたはにわかんかめがたどき
男子像の頭部や馬形埴輪、埴、甕形土器
はじきすえき
の土師器や須恵器なども出てしまし
た。これらの副葬品から5世紀後半の
こふんすいてい
古墳であろうと推定されています。

また、しんじんかぶがぞうきやう
神人歌舞画像鏡は同じ形の
かがみおおさかふないこふん
鏡が大阪府内のいくつかの古墳で見
つかっていることから、海外の進んだ
文化が、みやこつた
都を通過して狛江まで伝わって
きたことを示すとともに、だれが伝え
たのかというなぞをひ
秘めています。かめ
亀塚古墳の主は、ことによるとみやこ
都と
こうりゆう
交流のあった豪族の一人であったと
考えられます。

今も市内に13基のこふん
古墳が残っています。かめづかこふんいがいえんぶん
亀塚古墳以外はすべて円墳でした
が、その多くはどこかが削りとられて
います。しかしかぶとづかこふんせいきはじ
兜塚古墳（6世紀初め）
ひかくてきげんけい
だけは比較的原形をとどめていること
から、今はとうきやうとしていぶんかざい
東京都指定文化財になっています。

小学校高学年の皆さんにも読めるように、用語についてはなるべく優しく、漢字や固有名詞等にはふりがなを付けています。



録音図書のご案内

今年4月から、雑誌『週刊金曜日』のDAISY版を購入しています。スポンサーに依存せず自由に発言できる雑誌を作りたいと、今は亡き筑紫哲也さんや井上ひさしさんなどのジャーナリストや作家たちが編集委員となり、1993年に創刊された政治・社会・環境問題などを扱う雑誌です。テープ版音声会という団体の協力を得て、印刷された雑誌と同じ価格でDAISY版も販売されています。

雑誌『週刊金曜日』

墨字版は毎週金曜日発行です。
DAISY版は月曜日に図書館に届きます。

※この録音図書は、出版者の意向により障害の有無にかかわらず、どなたでもご利用いただけます。但し、通常のCDプレイヤーでは再生できません。詳しくは中央図書館にお問い合わせください。

今後の行事予定

狛江文化財散歩

泉龍寺・伊豆美神社・万葉歌碑など、市内にある文化財をめぐる予定です。

日時：11月11日(金)
9:30～11:30

対象：市内在住の方、25人程度

講師：井上孝氏(文化財専門委員)

講演会「今、大人こそ絵本を」

～心の再生のために～

日時：12月11日(日)
14:00～16:00

講師：柳田邦男氏
(ノンフィクション作家・評論家)

定員：200人

会場：西河原公民館 多目的ホール

9月)
30日 図書館ボランティア養成講座

10月)
6日 文学散歩(申込み終了)
7日 図書館ボランティア養成講座

11月)
11日 狛江文化財散歩
19・20日 リサイクル図書配布

12月)
11日 柳田邦男講演会
21日 クリスマス特別おはなし会

※各行事の詳細は、図書館ホームページや館内のお知らせ・「広報こまえ」等をご確認ください

編集後記

季節は晩夏から初秋へ向かい、過ごしやすい気候が到来します。9月から企画展示が再開しました。今回のテーマは「映画・ドラマ化された作品」、次回は「大人が楽しめる絵本」の予定です。あなたと本との出会いである「文学の森」へ足を運んでみませんか。お待ちしております。(H.N)

〈編集・発行〉

平成23年9月21日発行
狛江市立中央図書館
和泉本町1-1-5
TEL 03-3488-4414